

活動報告

シリア国リプロダクティブヘルス強化プロジェクト

井上 茂(副総括):保健省

2006年6月から始まった「シリア国リプロダクティブヘルス強化プロジェクト」の紹介を致します。シリアでの保健医療分野の協力は機材供与等の実績はありますが、「技術協力プロジェクト」では初めての協力になります。

都市と農村の格差是正

シリアの医療事情は、中東諸国内でも比較的質が高いと言われていす。しかし、国内の地域格差は依然大きく、農村部では公的医療施設によるサービスの質が低いうえにアクセスも困難です。特にシリア北部・東部とダマスカス市郊外では母子保健等に関する水準が低くなっています。シリア第10次5年計画(2006~2010年)においても、都市と農村の格差是正が保健医療分野の方針の一つとしてあげられています。

一方、JICAは隣国のヨルダンで「家族計画・WIDプロジェクト」等、同分野の協力について実績があり、高い評価を受けています。そこでの経験とノウハウを生かしながらシリアでの同分野の協力実施を検討するために、2003年にプロジェクト形成調査が行われました。



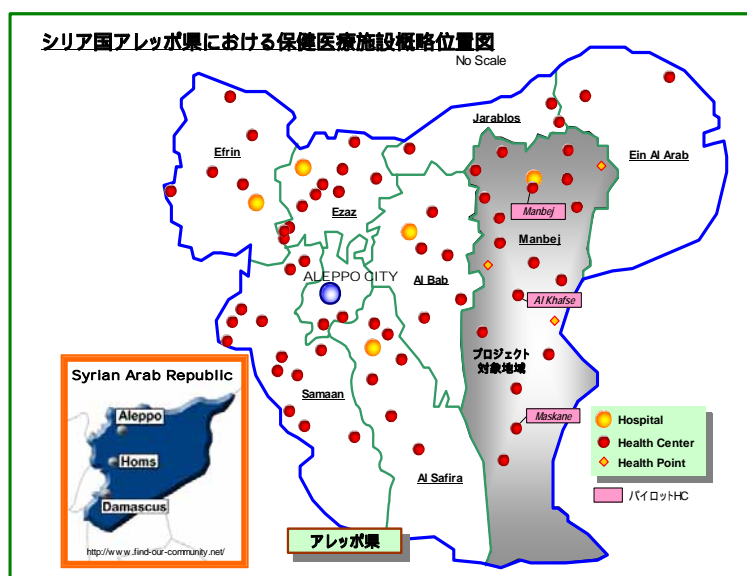
アレppo県知事との会談

その後、事前調査とシリア側との協議を経て、プロジェクトの枠組みについてシリア・日本両国の合意が得られ、プロジェクト開始に至りました。こ

のプロジェクトは「民活技プロ」として、(株)アース・アンド・ヒューマン・コーポレーションが受託し、JICAとともに実施しています。

質の高い保健サービスに向けて

プロジェクトの目的は、「アレppo県マンベジ郡において、質の高い母子保健・リプロダクティブヘルス(MCH・RH)のサービスの利用が増加すること」です。受益者はマンベジ郡の母子保健(MCH)・リプロダクティブヘルス(RH)分野の保健医療スタッフと同地域の15歳以上の未婚・既婚の男女で、3つの保健センター(マンベジ、アルカフセ、マスカネ)とその管轄する地域をパイロットサイトとしています。プロジェクトの実施期間は、2009年3月までの約3年間です。カウンターパート機関は保健省プライマリヘルスケア(PHC)局とアレppo県PHC局ですが、プロジェクトが進行するにつれて、マンベジ郡の関係スタッフと直接業務を行うことが多くなってきました。



PSC(Project Steering Committee)で発表する筆者(左)

本プロジェクトの基本方針はいくつかありますが、これを一言でまとめると、シリア側の方針・意向を十分に配慮し取り入れながら、ヨルダン等の JICA の経験を生かしつつ、シリアのキャパシティ・デベロップメントと自立発展を目指す、ということです。



アレppo保健局のビルプロジェクトの看板

プロジェクトの成果としては、母子保健・リプロダクティブヘルスのサービス向上のほかに、コミュニティ住民の RH に関する意識向上、中央レベルのステークホルダーのプロジェクト活動・MCH・RH 課題への支持、プロジェクト活動のモニタリング・評価の

強化が期待されています。特に住民の意識向上に関しては、プロジェクトへの関心を高めてもらうために、女性のエンパワーメントに主眼をおいた保健分野以外の活動も行っていく予定です。具体的には、識字教育やさまざまな収入創出活動が考えられますが、現在進行中の基礎調査の結果を見ながら、検討している最中です。



マスカネ HC での CBWG

プロジェクトメンバーが今まで活動してきたところの印象は、シリアの医療関係者は穏健で分かりやすいが、それでも本音を聞くのは難しい、全体の医療水準が比較的高い割には保健センター等の PHC に関するレベルが低い、NGO が予想以上に不活

発、アレppoの料理はおいしい、とにかく仕事が忙しい、といったところでしょうか。

今回はプロジェクトの概要を説明していたら、紙面が少なくなっていました。次回は、現場のエピソードを交えながら、よりホットな話題を提供したいと思います。



マンベジ市での CBWG に集まった女性たち

JICA 事務所のスタッフをはじめとして、すでにシリア在住の方々には大変お世話になっています。プロジェクトがもう少し進展したら、こちらも様々な情報を発信できるようにしたいと考えています。皆様、今後ともよろしくお祈りします。

話の広場

なぜアラブでは「アラビア数字」ではなく「インド数字」が使われているのか（前編）

JICA 経理部日比さんからの宿題

平田未季：JOCV 17-1

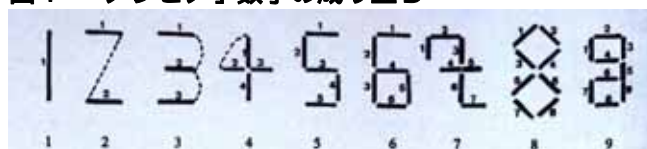
日本語教師：ダマスカス大学

シリアをはじめとするアラブ諸国ではどうして「0,1,2,3...」ではなく「٠,١,٢,٣...」という独特の数字が使われているのでしょうか。

現在世界中で使われている「0,1,2,3...」は普通アラビア数字 (Arabic numerals) と呼ばれています。日本語のクラスで「シリアの文化について教えてください」と学生に聞くと、必ず出るのはこのアラビア数字の話です。皆さんも一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか、**図1**のように、「0,1,2,3...」の記号はそれぞれの角の数に応じて作られた、

非常に論理的な記号であるという話です。

図1 「アラビア」数字の成り立ち



(ジョルジュ・イフラー『数字の歴史』p442)

シリア人は皆このアラビア数字を自分たちの文化として非常に誇りに思っています。日本に留学した学生も、自国

の文化紹介の際は必ずこのアラビア数字の由来について話し、毎回非常に好評を得るそうです。

しかし皆さんもご存知の通り、シリアをはじめエジプト、ヨルダンなどアラビア語圏の国々では一般的に「0,1,2,3...」のアラビア数字ではなく、「٠,١,٢,٣...」という異なる記号が使われています。店のレシートも車のナンバーも数学の教科書¹まで、日常生活に関わるものほぼ全てに用いられる「٠,١,٢,٣...」。このちなみに「٠,١,٢,٣...」はアラビア語で「インド数字」(Al-arq m al-hind ya)と呼ばれています。

今や世界の共通記号であるアラビア数字は、どうしてアラブ諸国であまり使われないのでしょうか。得意げにアラビア数字の成り立ちを紹介する学生も、「じゃ、どうして今のシリアではそのアラビア数字を使わないでインド数字を使っているの」と聞くと、みな首をかしげるばかりで、答えられる人は1人もいません。

気にしながらも今まで何となく放っておいたこの疑問。7月にJICA 監事庵原さんとJICA 経理支援チーム長日比さんを迎えた懇親会の席で何気なく私がこの疑問をもちたとき、日比さんはこうおっしゃいました。

「どんな小さなことでも『分からない、不思議だ』と思ったことをそのままにしておくようでは、仕事の上でプロになることはできない。不思議だと思ったことは、すぐその場で解かなければならないのです」

というわけで、今回日比さんからの宿題を解くため、私はインターネット、専門の書籍で数字について調べてみました。その結果を下に簡単にまとめてみました。なお、以下では便宜上、「0,1,2,3...」の記号を「アラビア」数字、「٠,١,٢,٣...」を「インド」数字と呼んでいます。

大変長くなってしまいましたが、興味のある方はどうぞお読み下さい。

1. 「アラビア」数字以前

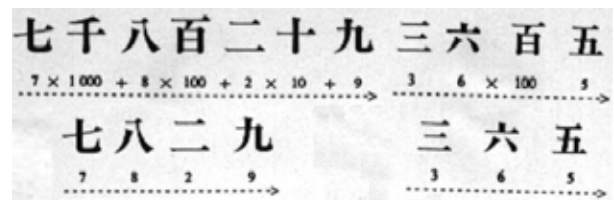
現在の数字体系が発明される前、人々は大変な労力を使って数を数えていました。指を用いたり、木に刻みを入れたり、紐に結び目を作ったり。数字に初めて記号を当てはめたのは、エジプトの象形文字のようです。その後世界各地の言語でアルファベットが使われ始め、ローマ数字に

代表されるように、アルファベットが数字代わりに用いられるようになりました。例えば、今でもアラビア語の教科書に時々見られる、「١は1を、٢は2を、٣は3を、٤は4を、٥は5を表す」などという記述はその名残です。しかしこの頃の数字には、「5と6を並べて56を表す」といった概念はなく、5には5の、50には50の独自の記号が当てはめられており、大きい数を表そうとすればするほど、膨大な数の記号を覚えなければならないという欠点がありました。その後農業の発達や商業の誕生により、各地で様々な方法を用いた計算盤が生まれましたが、現在の計算法からすれば、どれも非常に非効率的で複雑なものでした。

2. インド人の大発明

世界各地で様々な記号と計算法が生み出されましたが、6c から7c 頃インドで完成された数字は3つの点で他の方法を圧倒するものでした。1つめは数字の表記法、他の数字のように 10、100、1000...などそれぞれの位に記号を当てはめるという煩雑さを排し、記号を1から9に限り左から右に向かって位が大きくなっていくという位の抽象化を行ったこと(図2)、2つめは「ゼロ」という概念を記号として表したこと、そして最後に10進法を採用したこと。これらはすべて現在の数字体系の基本となるものばかりです。

図2 位の抽象化(漢数字を例に)



(ジョルジュ・イフラー 『数字の歴史』 p400)

インドのヒンズー文化では記憶力が重視され、文献を残すのではなく口述でその文化の大半が伝えられてきたため、どのようにしてこれらの概念が生まれたのか現在からうかがい知ることはほとんどできませんが、インド北西部のガンダーラ地方がB.C. 6cからペルシア帝国の領土であったこと、そこからペルシア文化、またギリシア文化がインドに伝わり西と東の文化の融合が長期的に行われたことがこの発見に大きな影響を持つのではないかという説もあります。

(次号に続く)

¹シリアの数学の教科書は、高校まではインド数字、大学からはアラビア数字で記入されているとのこと。現在一部は変更されているかもしれない。

シニアボランティア 5 名到着

氏名：高瀬義彦
職種：PLC
配属：ティッシュリーン大学
出身：北海道
趣味：写真
一言：人生、ネクスト
ステップはずばらしい。



氏名：森野謙
職種：渉外促進
配属：アレppo工業会議所
出身：東京都
趣味：テニス、旅行
一言：歴史とさまざまな文化の
織り成すシリアの地で活動する
ことが出来て、大変幸せです。2年間自分なりにベストを
尽くします。



氏名：宇塚恭治
職種：鋳造・金属加工技術
配属：アレppo工業会議所
出身：茨城県
趣味：ゴルフ
一言：鋳造一筋 40 年の経験
が役に立てるよう頑張りたい。



氏名：佐原一郎
職種：経営管理
配属：アレppo工業会議所
出身：栃木県
趣味：具流布、テニス、ジャズ
ボーカルを聞くこと
一言：健康に気をつけ、あせら
ず、あわてず、あきらめずに地道に目標に向かって行きた
い。シリアでの生活を有意義なものにしたい。



氏名：早貸正幸
職種：染色
配属：アレppo工業会議所
出身：神奈川県
趣味：旅行、マージャン
一言：化学会社で業務としてい
た染料の技術サービスをもとに、
ポリエステルや綿の染色に関する指導を行いたい。あわせ
てシリアの歴史、文化を学びたい。



いいとこ発見

ダマスカス博物館と Qasr al-Hayr al-Sharqi

所長 長澤一秀

パルミラとデリゾールの間にある遺跡を紹介したい。地図で見るとパルミラから近いように見えるが、砂漠の悪路を延々1 時間。不安に駆られた頃に忽然とウマイヤード王朝(661-750)時代の「Qasr al-Hayr al-Sharqi」(東の砂漠の城)が現れる。

729 年ウマイヤード王朝カリフ、ヒシャームによって建設された城である。この城壁は防衛のためというより、農園あるいは狩猟地を

囲む壁の役割を果たしていたとの説がある。周辺では水が豊富なのであろう、砂漠の中で地下水をくみ上げて農業をやっている姿が今も見られる。



Qasr al-Hayr al-Sharqi

ウマイヤードの栄華が偲ばれる。

この城の門の形はダマスカス国立博物館の玄関に模倣されている。

同じ王が作ったラサーファとセットで是非見学を！



ダマスカス国立博物館

We are on
the WEB.
See us on
[www.jica.go.jp/
syria/index.html](http://www.jica.go.jp/syria/index.html)

お知らせ

本ニュースレター配信ご希望の方は当事務所まで氏名、メールアドレス、JICA との関係(所属)を連絡願います。

編集後記

ラマダンも中盤に入ってきた。ほとんどのレストランが閉まっているため、昼食を諦めて断食するか、開いている KFC が、となる。毎日では飽きる。隊員の中には断食に挑戦している人もあるようですが、無理しないように！(K.N.)